



環境にやさしい容器包装

～未来の子供達に美しい自然を残したい～

ユニーグループ・ホールディングス株式会社
グループ環境社会貢献部
百瀬 則子

エコストアの構築

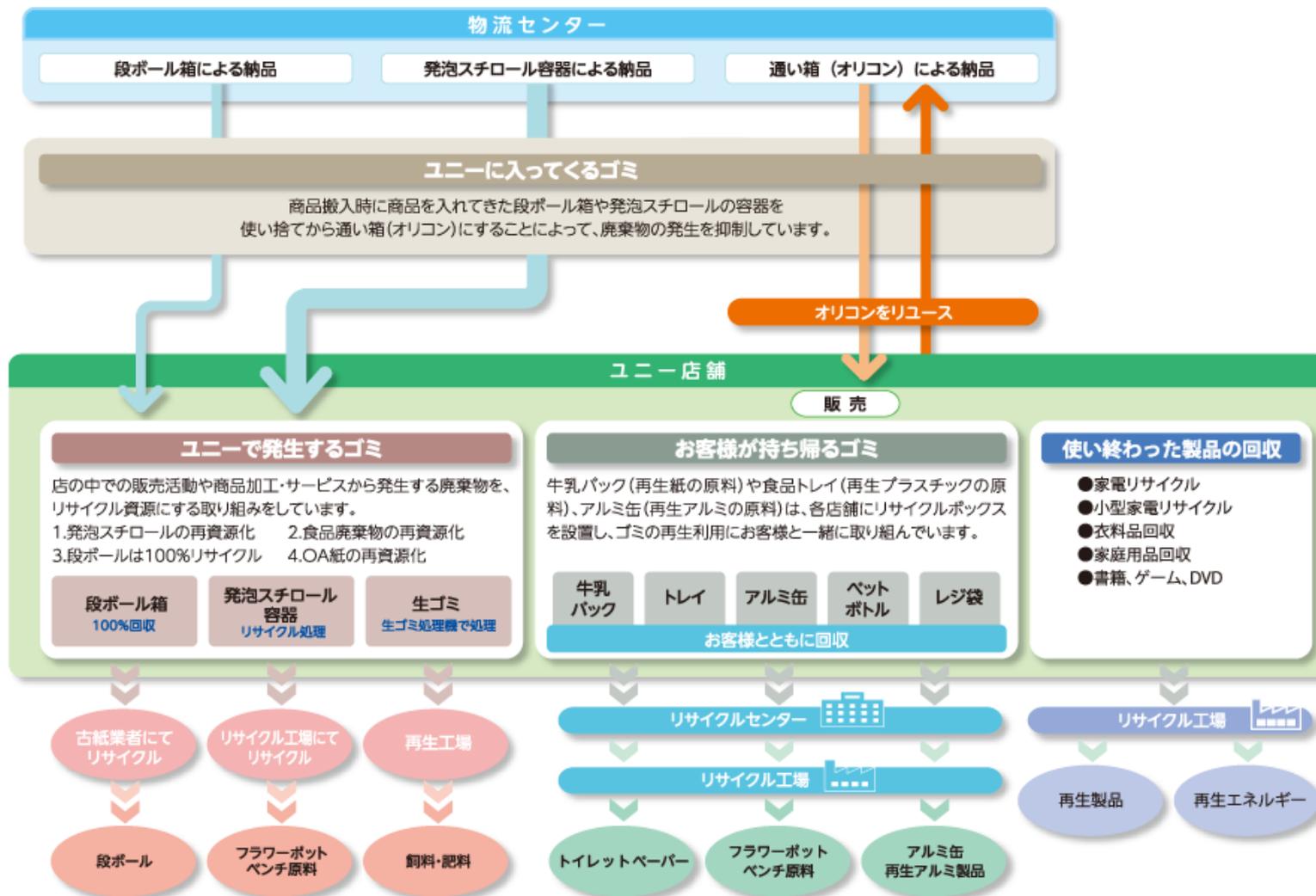
持続可能な社会を目指して

現在のことだけではなく未来に向かって地球環境を壊さずに、人間や地球の生き物が共存していく社会を構築していくこと、この未来に続く仕組みが持続可能な社会です。



ネットワークで切り拓く、再資源化ビジネスへのチャレンジ

◆廃棄物の再資源化 店舗から排出される廃棄物は、分別・計量し、リサイクルもしくは適正処分しています。
販売した商品の容器包装、製品も回収し、再生製品化もしくは再生エネルギー化を図っています。



●小売事業者は、販売した商品を廃棄物ではなく、再生資源化する努力をしています。

環境にやさしい容器包装

セルフサービスで販売しているスーパーでは、容器包装に入った商品を販売し、また贈答などで包装を承れば紙やプラスチック製の包装を施します。

- 容器包装は商品の品質や衛生を保つ役割を果たします。
- 手軽に安全に持ち運ぶ役割を担っています。

ところが、これらの使用済み容器包装は、家庭から排出されるゴミの50%にもなっています。

これら容器包装を見直すことで、ゴミの削減・資源の節約・CO2の発生抑制を図っています。

- ①容器包装をできるだけ使わない販売への取り組み
- ②使った後の容器包装を廃棄物にしないで再生資源とする取り組み
- ③サステイナブル（持続可能な）原料を使った容器包装への取り組み

環境にやさしい容器包装

① 容器包装をできるだけ使わない販売への取り組み

お客様と一緒に「使わなくてもよい容器包装」を削減する。

- ノーレジ袋キャンペーン
- レジ袋無料配布中止
- ばら売りなど容器包装を使わない販売
- 容器包装の計量化・小型化・肉薄化
- トレイを使わない販売
- 贈答品などの簡易包装
- マイボトル・マグカップなどの利用

レジ袋削減のための取り組み

■ お買い物袋持参運動開始

1989年に愛知県一宮市で「使用済みのレジ袋を再び使用しよう」という、お買い物袋持参運動を開始しました。



お買い物袋持参運動の説明を受ける従業員（1989年11月、サンクス一宮店）

■ マイバッグキャンペーン

2001年からは「何度も使えるレジ袋代わりにマイバッグ」をスタンプカードと交換で差し上げるマイバッグキャンペーンを始めました。



■ レジ袋の無料配布中止

名古屋市緑区で、他のスーパーと一緒に有料化を進めました。市民や市の職員も一緒にキャンペーン活動をしました。



名古屋市緑区アピタ瑞穂店

環境にやさしい容器包装

① 容器包装をできるだけ使わない販売への取り組み

お客様と一緒に「使わなくてもよい容器包装」を削減する。

トレイを使わない販売へのチャレンジ

食品トレイはポリスチレン樹脂を発泡させた薄板をトレイ状に形成したもので、軽く水に強く保冷性があり精肉や鮮魚などの生鮮食品の容器包装に適しています。

ところが、家庭でのゴミ削減や冷蔵庫でがさばるなどの理由で、店のゴミ箱に捨てられるものが多くなってきました。

トレイを使わず、リーフパック(紙とフィルムで包装)での販売を始めました。



リーフパック売り場

リーフパック商品を購入した方へ「どうして購入しましたか？」



「ゴミが減る」「かさばらない」という理由が大半で、その他は「シートの上で切ればまな板がいらない」「冷凍にしやすい」「前に購入してよかった」といものや「なんとなく」「欲しいものがたまたまリーフパックだった」などでした。

全員に「今後リーフパック商品を購入したいですか？」



今後買いたい方は77.5%でしたが、「買いたくない」と答えた方は「覆れているトレイの方がよい」「破れそうで不安」「肉汁が出そう」などがその理由です。

※2011年11月27日～2012年3月4日 アピタ各店

環境にやさしい容器包装

②使った後の容器包装を廃棄物にしないで再生資源とする取り組み

使用済みの容器包装を店頭回収してリサイクルする。

お客様が商品と一緒に持ち帰った容器包装を、店頭で回収し、荷物の帰り便でリサイクルセンターに集約します。

店頭回収で収集した容器包装は、リサイクルルートが構築されたものだけを対象にしています。



弥富物流センター内のリサイクルセンター



未来の子供達に美しい自然を残したい



私たちは持続可能な社会の実現のために、
お客様や関係する方たちと一緒に、努めていきます。